

事務事業名	理科担当者研修事業				担当	教育委員会 科学教育センター 科学教育センター				
政策名	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～				☐ 総重（総合計画重点事業）	☐ 総新（総合計画新規事業）			
施策名	1	確かな学力の育成				☐ 戦拡（総合戦略拡充事業）	☐ 戦新（総合戦略新規事業）			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ				
法令根拠	真岡市科学教育センターの設置、管理及び使用条例					☒ 毎年度実施（開始年度 令和3 年度～）				
予算科目	1.一般会計	10.教育費	04.社会教育費	09.科学教育センター費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
予算科目										
予算科目										
事業概要	指導主事が小中学校理科担当者一人一人の実態に応じた研修を実践し、教員の資質向上に努め、市内小中学生の理科学力向上を図る。 また、教員の観察実験技能・指導技能の向上を目指した理科実技研修会を実施する。									

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）					④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
6年度実績 ・市内小学校理科担当者20名を対象にのべ38回の研修を行った。研修を受けた100%の教員が、児童生徒の学力向上を図ることができる授業を行えるよう努めたと回答した。 ・市内小中学校教員に対し理科実技研修会を実施し、9名の教員が参加した。参加した100%の教員が観察実験技能・指導技能向上に役立ったと回答した。 ・学校訪問時、理科担当者及び理科主任を対象に理科室経営や観察実験器具の管理の仕方について助言を行った。 7年度計画 ・計画なし。					名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
					ア	理科担当者研修を利用した理科担当教員数		75	53	32	20
					イ	理科担当者研修を利用した回数（のべ）		125	103	63	38
					ウ						
					エ						
					オ						
					② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・市内小中学校理科担当教員（教頭、教務主任、再任用教員を除く。）					⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移	
					名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
					ア	市内小中学校理科担当者教員数		108	112	103	110
					イ	市内小児童数及び生徒数（小3～中3）		5129	5098	5046	4950
					ウ						
					エ						
					オ						
					③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・研修受講者の実態に応じた研修を実践し、観察実験技能・指導技能の向上を図り、「わかる授業」を展開することで児童・生徒の学力向上に繋げていく。					⑥成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移	
					名称	単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)	7 年度(見込)
					ア	研修により自信をもって授業に臨めた教員の割合		96.8	94.7	100	100
					イ	研修により観察・実験の指導力向上を実感した教員の割合		100	100	100	100
					ウ	真岡市総合学力調査における全国平均との差（小4～小5）		+2.3	+2.7	+0.3	+1.8
					エ	真岡市総合学力調査における全国平均との差（小5～小6）		-0.2	-2.2	-2.8	+0.6
					オ						
					(2) 総事業費の推移		単位	3 年度(実績)	4 年度(実績)	5 年度(実績)	6 年度(実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0	0	0		
			一般財源	千円	564	474	447	372	0		
	事業費計（A）		千円	564	474	447	372	0			

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 施設の閉所により、事業が終了。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	☒ 見直し余地はない ☐ 見直し余地がある (評価理由) 施設の閉所により、事業が終了。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	☒ 対象・意図を見直す必要はない ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある (評価理由) 施設の閉所により、事業が終了。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある (評価理由) 施設の閉所により、事業が終了。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	☒ 類似事業と統合・連携ができる (類似の事務事業名： 2 ～ 4 年目教員研修) ☐ 類似事業と統合・連携できない (類似の事務事業名：) ☐ 類似事業はない (評価理由)
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある (評価理由) 施設の閉所により、事業が終了。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性 (改革案・実行計画) ☒ 廃止 ☐ 見直し (☐ : 目的妥当性 ☐ : 有効性 ☐ : 効率性) ☐ 統合 ☐ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性																								

4. 事務事業の 2 次評価結果 (事業の総括と事業の方向性)

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足 (説明責任不充分) ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☐ 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項 科学教育センターの閉所に伴い、本事業は廃止するが、同様の事業を 2 ～ 4 年目教員研修で行う。																							